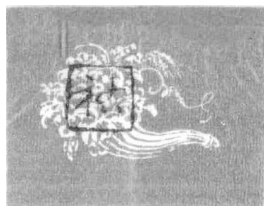


換

氣

口



昭和四十九年十一月十日 印刷發行

歌集換氣口

著者 金田祐子

横浜市港北区太尾町一〇の五
大倉山シュロス五〇四號

發行者 鎌田敬止

印刷者 塚田重

發行所 白玉書房

東京都大田區東嶺町三四番
一〇號 郵便番號一四五
電話東京七五八局二〇一三

定價 一〇〇〇圓

本文印刷／塚田印刷株式會社 製本／松本製本所

序歌

中河幹子

人間のもつ運命の不可思議に觸れて歌深し
いまだ若きを

神の恩恵と自らもいへり
大人に逢ひて素直
に妻とならせし

美しき令嬢のしつけ眼に見たり
その母の伶俐
稀なるを知る

目次

序歌

中河幹子

生命ありて 昭和二十年—二十九年 百二十三首

焦土

めぐりあひ

造花のぼら

光のごとく

空のみの窓

五 九 三 四 八

巢箱に入る

二四

金の翅音

二六

花をだまき

三二

爐邊の座

三四

白桃香る

三五

星と灯と 昭和三十年—三十四年 七十九首

星と灯と

四一

箱根行

四五

横濱

四六

金環蝕

四八

白き舗装路

五〇

亡父を戀ふ

五四

悲

皇太子祝婚

えにしだの道

歌も詠まずに

奔馬のごとき

願 昭和三十五年——三十九年 百四首

ピンクの雨傘

いのち繋がれて

再び病む

明き日日

連翹の花

「世界残酷物語」を観て

黄の蝶となれ

五

六

六

六

七

六

七

七

六

八

八

わが未知數

悲願

建設の譜

さくらの季

一日里親

冷暖自知

日本オリンピック開催

未知の灯

玩具

一期一會 昭和四十年—四十二年五月 百十三首

吾娘にあらぬに

母病む (一)

八四

八五

八六

八九

九〇

九二

九四

九五

九六

一〇一

一〇三

母病む (二)	一〇五
喪の花	一〇六
新しき町	一〇七
花の種子	一一三
春嵐	一二三
一期一會	一二四
白き花梢	一二七
金襴の打敷	一二八
亡母 (一)	一二〇
亡母 (二)	一二三
冬の夜	一二六
細き坂道	一二八
山寺(立石寺)	一二九

偏

流 昭和四十二年―四十五年五月 百五十首

春の落葉

別離

城

夾竹桃の町

離り居て

木曾川・明治村

春には遠き

路地のさくら

夏ふたたび

志摩の旅

遠き路地澄む

一三七

一三九

一四一

一四二

一四五

一四六

一五〇

一五二

一五四

一五六

一五八

仔犬と秋

一六〇

東大紛争

一六一

長谷寺

一六二

牡丹

一六三

月に翔くる日

一六四

京にて

一六五

花の洪水

一六六

わが希求

昭和四十五年——四十九年二月

二百三十六首

バレエ・チュチュ

一六七

光の木

一六八

洛北

一六九

生と死と

一七〇

敗戦前後	一九四
東風吹く	一九六
五月かがやく	二〇〇
西伊豆の旅	二〇三
遊歩道	二〇四
盲導犬	二〇六
三人娘	二〇七
わが希求	二一四
丘の家	二一八
秋の陽よ凝れ	二二一
陽を逐ひて	二二三
春愁	二三四
春の服	二三六

空路ゆく娘

二三六

花の繪便り

二三〇

北越の旅

二三三

ノアの箱舟

二三六

ドライ・フラワー

二三八

風の日昏れ

二四〇

わが窓

二四三

換氣口

二四七

跋

畑

和子

二五一

あとがき

二五九

換氣口

生命ありて

